

各府省庁等のノートパソコンの 利用状況に係るアンケート調査結果

1．調査の概要

(1) 調査目的

国等の機関のコンピュータの調達実績は約22万台(平成16年度実績)となっており、OA機器の中では調達量が多い品目であり、特に、一般の行政事務の用に供するコンピュータはその多くがノートパソコンであり、これらの消費電力を削減すること及び不必要な機能等の削減は、国等の機関による温室効果ガスの排出削減及び省資源に大きく寄与することが想定される。このため、各府省が導入し、通常の業務に利用しているノートパソコンの機器、機能の実態について調査を実施することとした。

(2) 調査対象

本庁を原則とするが、本庁と地方機関(地方分支局)における利用状況が大きく異なる場合は、当該地方機関(地方分支局)の調達担当に対して、調査票を配布・回収を実施した(調達担当者とシステム担当者と調整の上回答)¹。

(3) 調査期間

□ 平成18年7月3日～7月中旬

(4) 回収状況

□ 本府省庁等、地方分支局35機関から回答(うち法務省関係が9機関)

(5) 集計方法

各府省庁等のコンピュータの調達実績を集計に反映することを目的として、以下の方法で集計を実施した。

- 各府省庁等の平成16年度における電子計算機²の調達台数(購入及び新規リース・レンタルの合計)比率に合わせウェイトバック集計を実施
- 複数の機関から回答のあった府省庁等については、本庁の回答をウェイトバック集計に使用(21府省庁等が対象)

¹ 今回の調査は一般の行政事務の用に供するノートパソコンの利用状況の調査を目的としたことから、研究等の他用途の利用についても相当程度想定される独立行政法人、特殊法人、国立大学法人等は調査対象から省いている

² 調達実績の内訳(ノートPC、デスクトップ等)が不明の府省庁等が一部あったことから、電子計算機の調達台数を使用

2. 調査結果について

問1 ネットワーク・通信機能の利用状況について

ネットワーク・通信機能の利用状況については、以下のとおり。

- ネットワークは有線 LAN で利用されている
- 無線 LAN の利用頻度は低く、モデム及び赤外線通信はほとんど利用されていない

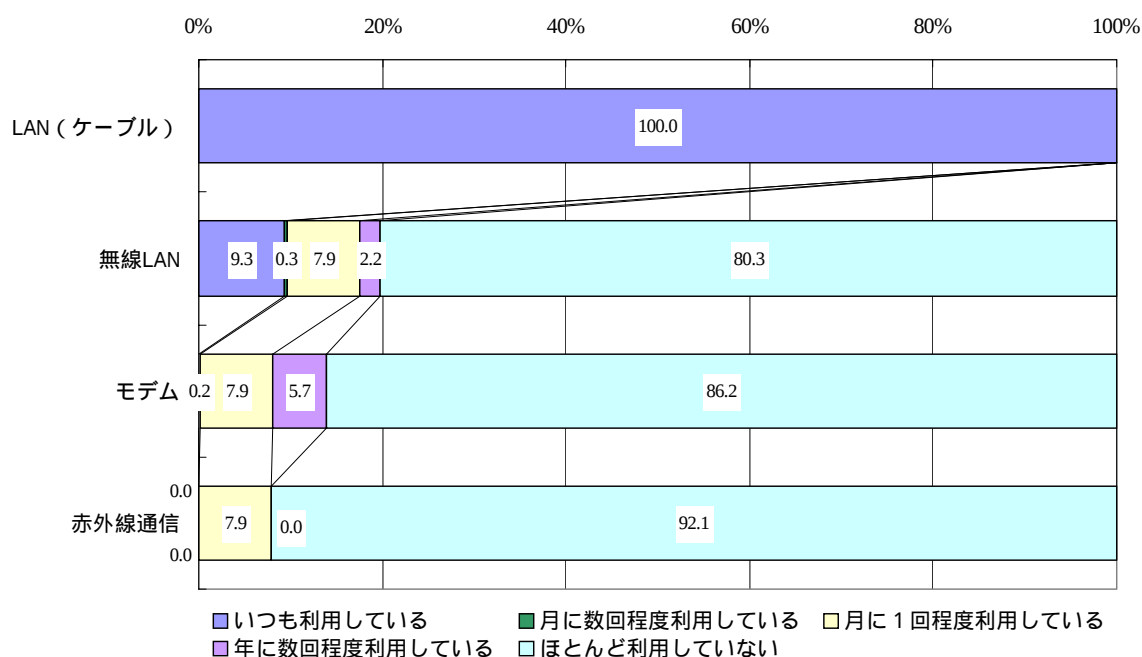


図1 ネットワーク・通信機能の利用状況（問1）

問1付問 利用頻度の低い機器・機能について

問1において利用頻度の低い機器・機能についてなくなった場合の業務上の支障について質問した。下記の場合以外は、特段の支障はないと判断されている。

- 無線 LAN については「事業において利用する場合がある」「将来利用することが考えられる」がそれぞれ1件ずつとなっている
 - ➔ 業務において使用するケースは稀
- モデムについては「外部や出張等で使用・貸出する場合」に必要とする意見が3件あげられている
 - ➔ 出張や貸出用のノート PC を準備することで解決が可能

問2 外部記憶メディアの利用状況について

外部記憶メディアの利用状況については、以下のとおり。

- 「いつも利用している」記憶メディアは、CD-ROM が 37.0%、FD が 32.7%、CD-RW が 31.3%、USB メモリが 16.8%となっている
- 「ほとんど利用していない」記憶メディアは DVD が 30.5%、USB メモリが 28.3%となっている

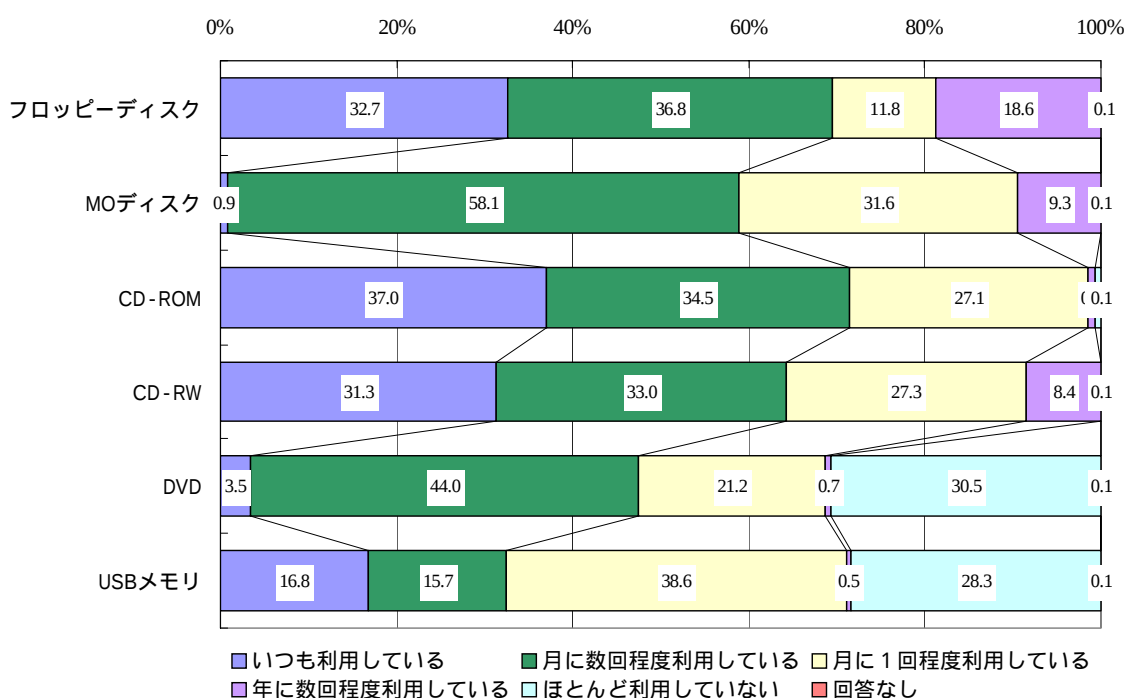


図2 外部記憶メディアの利用状況（問2）

問2付問 外部記憶メディアの設置の必要性

問2における利用頻度を勘案して、各メディアの必要性について質問した。その結果は、以下のとおり。

- 「各パソコンに1台必要（要内蔵）」とするメディアは、CD-RW が 70.1%、CD-ROM が 67.3%、FD が 63.0%、DVD が 53.6%となっており、各パソコンに内蔵する必要があるとする意見は多い
- MO ディスクや DVD、CD-RW、FD については「ネットワーク等で共有できればよい」とする意見も多い
- USB メモリについては「なくても特に支障がない」とする意見が 28.3%となっている

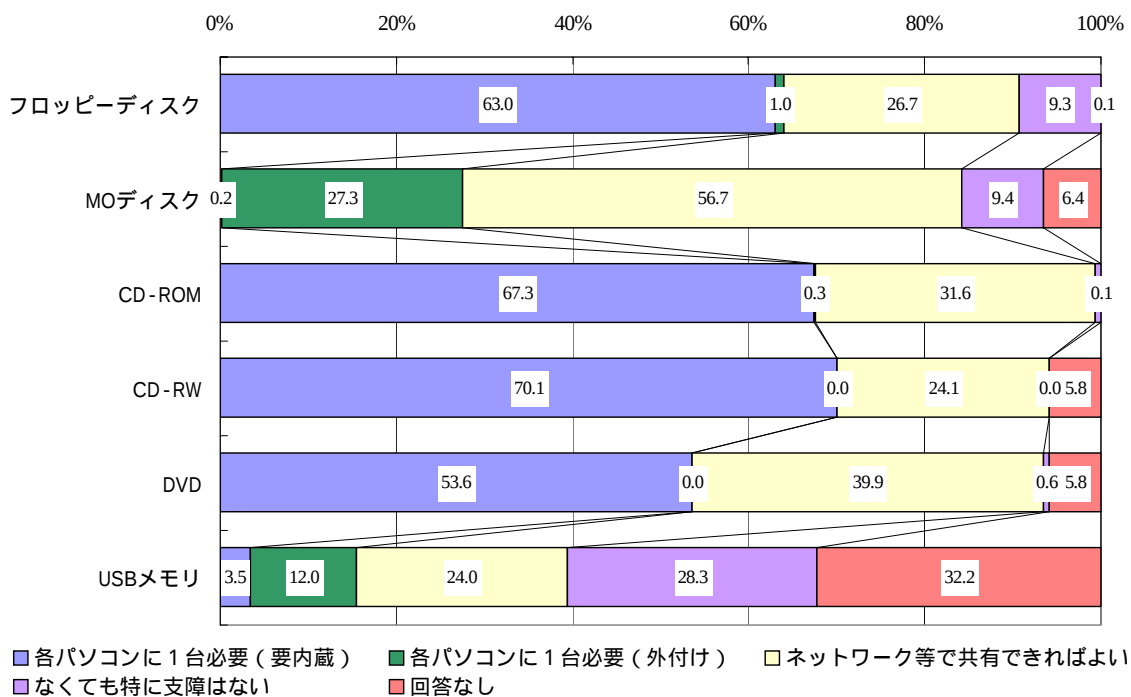


図3 外部記憶メディアの必要性（問2付問）

問3 インターフェイスの必要性について

インターフェイスの必要性については、以下のとおり。

- USBコネクタについては83.7%が「必要性が高い」としている
- モデムコネクタ、ビデオ出力端子、IEEE1394端子については4割以上が「必要性が低い」としている
- USBコネクタの必要個数は単純平均で3.5個であり他と比べ極めて多い

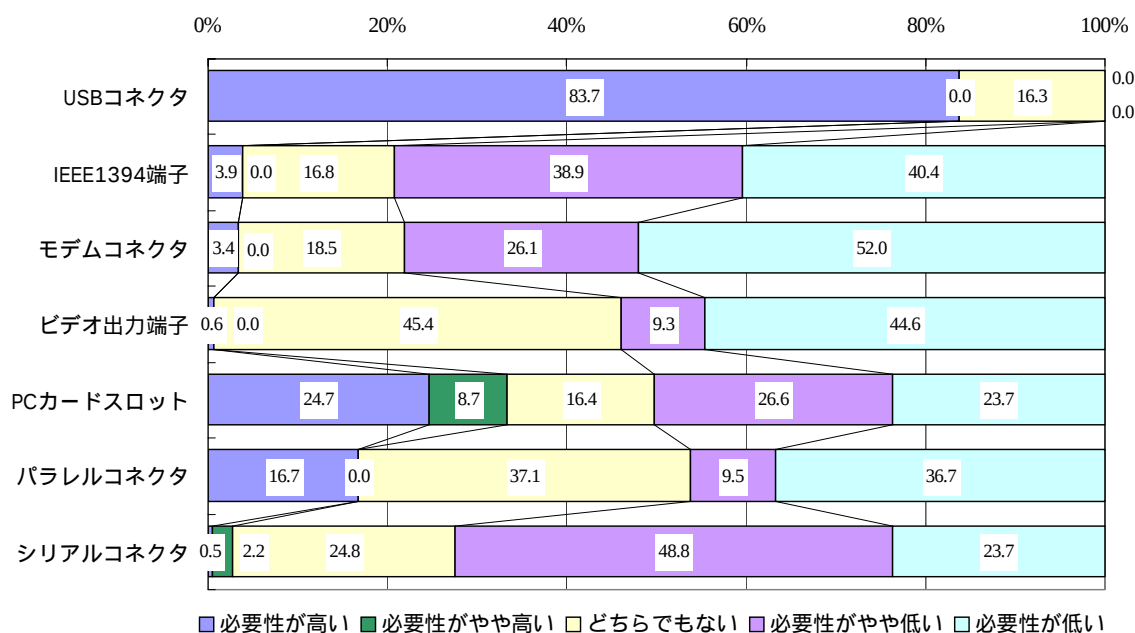


図4 インターフェイスの必要性（問3）

問4 入出力装置の必要性について

入出力装置の必要性については、以下のとおり。

- マウスについては97.6%が「必要性が高い」としている
- タッチパッドについては「必要性が高い」は14.9%であるが「必要性がやや高い」を合わせると過半数を占める
- ポインティングスティックは約6割が「必要性が低い」としている

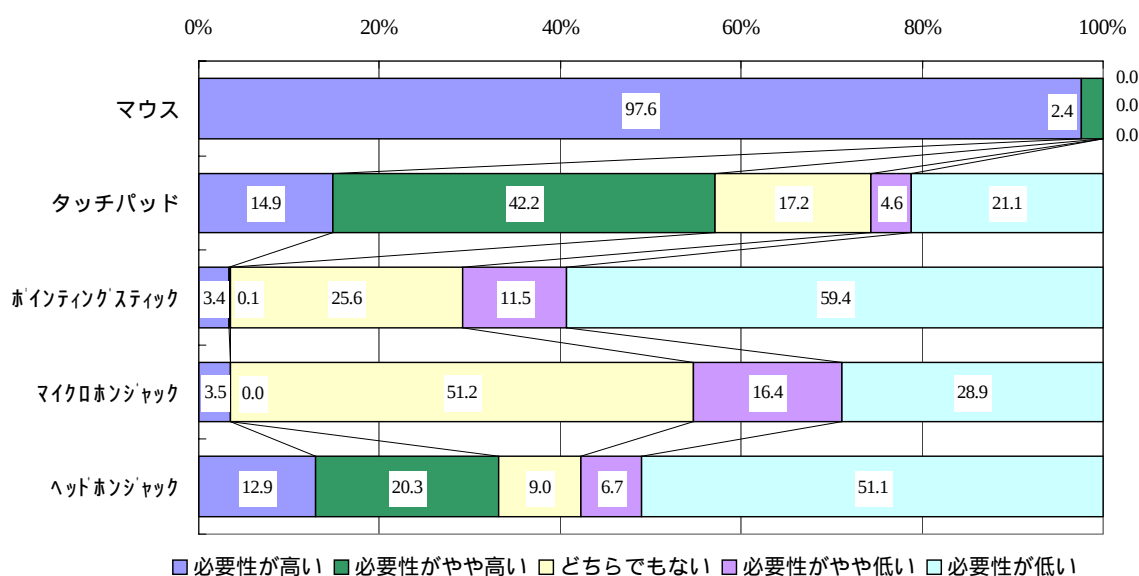


図5 入出力装置の必要性（問4）

問5 ソフトウェア、OS等のインストール方法について

インストール方法については、以下のとおり。

- ネットワークインストール、CD-ROM等の電子媒体を介したインストールがそれぞれ約2割であり、その他の方法（管理者が実施等）によるインストールが約6割を占めている

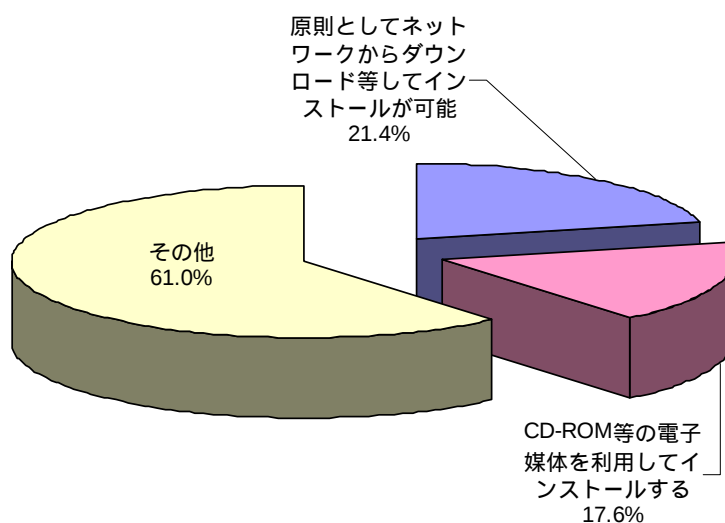


図6 ソフトウェア、OS等のインストール方法（問5）

問6 付属品の必要性について

付属品の必要性については、以下のとおり。

- マニュアルについては「課室ごと等適切に共有できればよい」または「なくても特に支障はない」とする意見が大半を占めている
- リカバリ CD については各パソコンに必要

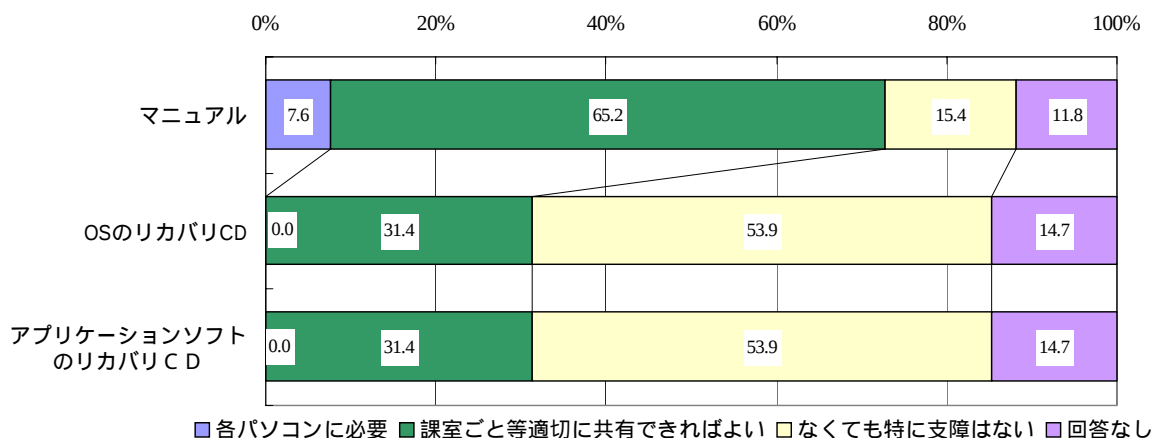


図7 付属品の必要性（問6）

問7 移動や持出について

移動や持出の決まりについては、以下のとおり。

- 「原則として設置された箇所から移動・持出はできない」が67.1%、「府省内（建物内）においては移動・持出を認めている」が11.5%であり、約8割が府省外（建物外）への移動・持出を原則として認めていない

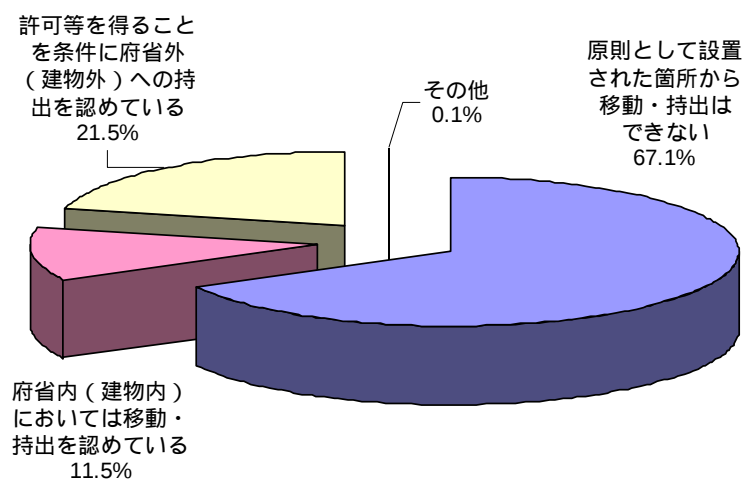


図8 移動や持出の決まり（問7）

問 8 バッテリー駆動時間について

バッテリー駆動時間については、以下のとおり。

- 「15～30分程度で十分」が44.4%、「停電等の不測時にデータを保存し正常に終了できる程度」が40.0%であり、合わせて8割以上が短時間の稼動で十分としている
- 「2時間以上必要」とする理由としては、庁外や出張（海外含む）で利用する場合、短時間の会議で使用する場合などの特別な事情による

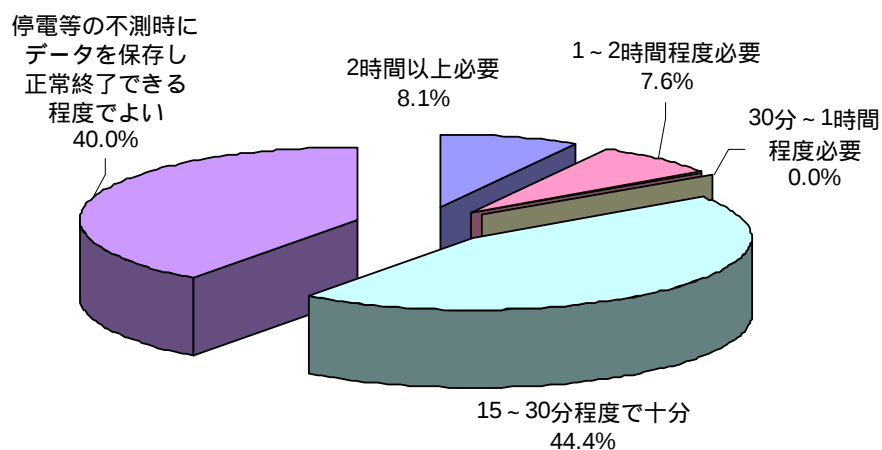


図 8 バッテリー駆動時間（問 8）